

UPSの保証・保守内容

UPSの保証・保守はUPSの種別により保証内容に違いがあります。
UPSの保証・保守上の種別は下記の二つになります。

保証・保守上バッテリーを製品の一部として扱うもの

この種別のUPSは、バッテリーを製品の一部として扱い**バッテリー消耗・故障時は製品ごと交換**となります。
本種別のモデルは下記になります。

旧モデル	T700、T750、T1000 G2、T1000 XR、T1500 XR、T2200 XR、R1500J XR
------	---

保証・保守上バッテリーを製品の一部として扱うものの保証内容

保証・保守上バッテリーは製品本体と別扱いになるもの

この種別のUPSは、製品本体とバッテリーは別扱いになります。UPS本体の故障時はUPS本体のみの修理対応となり、**バッテリーの消耗・故障時はバッテリーのみの取り換え対応**になります。
本種別のモデルは下記になります。

旧モデル	T750 G2、T750 G4、T1000 G3、T1000 G4、T1500 G3、T1500 G4、R1500 G2、R1500 G3、R1500 G4、RT2200 G2、R/T2200 G4、R3000、R3000J XR、R3000H XR、RT3000、RT3000 G2、R/T3000 G4、R5500、R5500J XR、R6000J、R12000 XR、T1500 G2 ※ R3000、R5500はXRのRoHS対応版で、XRという名称が外れただけで、仕様には変更がございません。
現行モデル	T750 G5、T1000 G5、T1500 G5、R1500 G5、R/T2200 G5、R/T3000 G5、R5000、R5000 G2、R7000

保証・保守上バッテリーは製品本体と別扱いになるものの保証内容

バッテリーを製品の一部として扱うものの保証・保守に関して

バッテリーを製品の一部として扱う機種の場合、4年目以降（保守契約のあり・なしにかかわらず）バッテリーが消耗・故障した場合、製品本体交換分の部品代が必要となります。

パッケージサービスなどの保守契約無し				
	本体故障時		バッテリー消耗※1※3・故障時	
	部品代	作業費	部品代	作業費
1年目	無償	無償	無償	無償
2年目	無償	有償	無償	有償
3年目	無償	有償	無償	有償
4年目以降	有償	有償	有償（本体交換）	有償
パッケージサービスなどの保守契約有り				
	本体故障時		バッテリー消耗※1※3・故障時	
	部品代	作業費	部品代	作業費
1年目	無償	無償	無償	無償
2年目	無償	無償	無償	無償
3年目	無償	無償	無償	無償
4年目以降※2	無償	無償	有償（本体交換）	無償

※1：バッテリー消耗とは、以下の事前警告が発生した場合を表します。バッテリー障害の事前警告は、バッテリー障害の約30日前に発生します。警告は次のいずれかの方法で行われます。

- ローバッテリーを示すLED
- パワーマネジメントソフトウェアからの通知

※2：4年目以降に有効なパッケージサービスなどの保守契約がある場合

（ただし、パッケージサービスで7年保守製品をご購入の場合、製品販売終了から6年を超えるUPS製品は保守契約対象外になります）

※3：バッテリー消耗に関しては、上記※1以外のバッテリー予防交換の場合は部品代は有償になります。

バッテリーは製品本体と別扱いになるものの保証・保守に関して

バッテリーは製品本体と別扱いになる機種の場合、4年目以降（保守契約のあり・なしにかかわらず）バッテリーが消耗・故障した場合、**バッテリーのみの部品代**となります。

パッケージサービスなどの保守契約無し				
	本体故障時		バッテリー消耗※1※3・故障時	
	部品代	作業費	部品代	作業費
1年目	無償	無償	無償	無償
2年目	無償	有償	無償	有償
3年目	無償	有償	無償	有償
4年目以降	有償	有償	有償（バッテリーのみ）	有償
パッケージサービスなどの保守契約有り				
	本体故障時		バッテリー消耗※1※3・故障時	
	部品代	作業費	部品代	作業費
1年目	無償	無償	無償	無償
2年目	無償	無償	無償	無償
3年目	無償	無償	無償	無償
4年目以降※2	無償	無償	有償（バッテリーのみ）	無償

※1：バッテリー消耗とは、以下の事前警告が発生した場合を表します。バッテリー障害の事前警告は、バッテリー障害の約30日前に発生します。警告は次のいずれかの方法で行われます。

- ローバッテリーを示すLED
- パワーマネジメントソフトウェアからの通知

※2：4年目以降に有効なパッケージサービスなどの保守契約がある場合

（ただし、パッケージサービスで7年保守製品をご購入の場合、製品販売終了から6年を超えるUPS製品は保守契約対象外になります）

※3：バッテリー消耗に関しては、上記※1以外のバッテリー予防交換の場合は部品代は有償になります。

UPS (無停電電源装置) に関する保守部品のご提供について

弊社が提供する保守部品の場合は、サービス終了期限まで安定したご提供を継続するため、同等または同等以上の機能を保有した保守部品をご提供させて頂いております。今後、以下に記載しましたUPS部品につきましては、後継品を優先的にご提供させて頂きますので予めご承知下さいますようお願い申し上げます。

対象となる製品及び部品の一覧

下記に記載されたUPS部品におきましては、ご発注頂いた部品とは異なり、後継品を優先的にご提供させて頂きます。現行品と後継品の主な仕様の違いにつきましては以下ご参照下さい。

	モデル名	製品番号	保守部品番号	保守部品名称	幅 (mm)	奥行 (mm)	高さ (mm)	重量 (kg)	レセプタクル数	VA Rating	Watts Rating
現行品	T750 J T750 G2	AF456A	538256-001	SPS-UPS,T750J	150	333	193	12.7	6	750VA	500W
後継品	T750 G4	J2P85A	796774-001	SPS-UPS T750 G4 NA/JP	150	340	210	10.7	6		
現行品	T1000 J T1000 G3	AF457A	538257-001	SPS-UPS,T1000J	150	391	193	17	6	1000VA	680W
後継品	T1000 G4	J2P86A	796763-001	SPS-UPS T1000 G4 NA/JP	150	410	210	11.4	8		
現行品	T1500 J T1500 G3	AF458A	538258-001	SPS-UPS,T1500J	150	391	193	17.4	6	1200VA	980W
後継品	T1500 G4	J2P87A	796772-001	SPS-UPS T1500 G4 NA/JP	150	410	210	15.6	8		
現行品	R1500 G3	AF470A	638838-001	SPS-UPS R1500KVA 1U JPN TW G3	444.5	612.1	45	23.0	4	1200VA	900W
後継品	R1500 G4	J2R05A	796755-001	SPS-UPS R1500 G4 JP/TWN	437	554	43	20.0	5		

部品交換時にご留意頂きたい項目

1. HP Power protector (以下HPPP) のバージョンについて

後継品のUPS G4 シリーズは、HPPP のバージョン 1.03.38 以降で使用が可能ですので、必要に応じて更新をお願い致します。最新版のHPPPは弊社サポートサイトにも公開されておりますので、併せてご参照ください。

https://h20392.www2.hp.com/portal/swdepot/displayProductsList.do?category=HPPPUMS&lc=JA_JP

2. ユーザーインターフェースの違いについて

UPS G4 シリーズは、ユーザーインターフェースとして液晶パネルを搭載しているため、旧製品とは操作性が異なります。G4シリーズに関する各種ユーザーガイドは[こちら](#)からダウンロード可能です。

3. リダンダント構成 (冗長構成) のUPSについて

リダンダント構成 (冗長構成) のUPSではG3/G4世代の混在が許されませんので、それぞれのUPSを同一の世代・機種に揃えるようご対応下さい。